学校番号	２０８

平成３１年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　「新編　国語総合」　（教育出版）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧（数研出版） 常用漢字ダブルクリア三訂版（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では社会人に必要となる基礎的な国語力を身につけましょう。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」、意思を伝えるための「書く能力」を身につけましょう。
・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、内容を理解するために必要な、語彙力や文法の知識を身につけましょう。
・本文を読むなどの予習や、授業後には内容の復習をしましょう。
・提出物の期限は必ず守り、定期考査は計画を立てて臨みましょう。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、表現の仕方を工夫して話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じて、文章の形態や語句を工夫することで、適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章の内容を的確に読み取ったり、人物、情景、心情などの表現に即して読み味わったり、目的に応じて幅広く読み、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （ノート、ワークシートや、発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ノート、ワークシート等） 定期考査	記述の確認及び分析 （ノート、ワークシート等） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	自己紹介	「近代以降」 (自己紹介文を書き、それを元に自己紹介をすることで、話し方、聞き方を学ぶ) 教材 「スピーチをする」 「原稿用紙400字×2枚」	○	◎	◎		○	a:誰に向かって、何のために、どのような条件で話すのかを考えようとしている。 b: 誰に向かって、何のために、どのような条件で話すのかを考えている c: 誰に向かって、何のために、どのような条件で話すのかを考えている e：書くこと、話すこと、聞くことに必要な文の組み立てについて理解している。	abce 行動の観察と確認、記述の点検
	随筆	「近代以降」 教材 「頭の中の無限大」 「『赤毛のアン』と出会い」	○			◎	○	a：今までに出会ったことのないような発想や生き方にふれ、自分を変えるヒントを見つけようとしている。 d: これまでの生活を振り返って、視点を変えるという作者の考えを、文章の筋道を的確にとらえ理解している。 e：漢字などについて、正確に理解し、知識を身につけている。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と定期考査
	評論1	「近代以降」 教材 「想像する力」	○			◎	○	a:筆者の意見を正確に捉えようとしている。 d:人間の想像する力について理解し、筆者の意見を正確に捉えている。 e:書くことに必要な文体について理解している。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と分析と定期考査

	小説1	「近代以降」 教材 「雨傘」 「デューク」	○		○	◎	○	a：作中のいろいろな人物になってその心情を想像しようとしている。 c: 作中のいろいろな人物の心情を理解し、文体や語句などを適切な表現の仕方で書いている。 d: 心情の移り変わりや情景、考えの進め方など、文章の筋道を的確にとらえている。 e：漢字などについて、正確に理解し、知識を身につけている。	ac 行動の観察と記述の点検 cde 記述の確認と定期考査
	古典の説話、随筆	「古典」 教材 説話 「児のそら寝」 「徒然草」 高名の木登りといひし男 仁和寺にある法師 奥山に猫またといふものありて 歴史的仮名遣い （いろは歌）	○			◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d: ：文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:文語文法のきまりを身につけ、古文読解に役立てている。	a 行動の観察 d 記述の確認と定期 e 小テストと定期考査
2学期	音楽を紹介する	「近代以降」 今、イチ押しの音楽を紹介しあうことで、話し方聞き方を学ぶ。 教材 「スピーチをしよう」 「原稿用紙400字×1枚」	○	◎			○	a:話す内容について幅広く調べようとしている。 b: 話す内容について幅広く資料を集め、紹介する内容を調べている。 e: 話すこと聞くことに必要な語句や文体の違いによる特色について理解している。	abe 行動の観察と記述の点検
	評論2	「近代以降」 教材 「水の東西」 「治具」	○			◎	○	a:抽象的な文章に触れ、小さな事例を一般的な概念で捉えようとしている。 d:抽象的な文章においても、文章の道筋を的確に捉えている。 e:抽象的な語句に慣れ、特に対比的に使われている語句に注目できている。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と分析と定期考査

	小説2	「近代以降」 教材 「とんかつ」 「葉桜と魔笛」	○			◎	○	a:全貌を語らない小説に対し、想像と推理を働かせている。 d: 登場人物の心情、情景などをとらえ、語句の表現効果に気付いている。 e:文体や文章の形態の特色について理解している。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と定期考査
	詩	「近代以降」 教材 「サーカス」 「わたしが一番きれいだったとき」 「二十億光年の孤独」	○	◎		○	○	a: 人物の心情や情景などをとらえ、言葉の美しさや深さなどに気付こうとしている。 b:声を出し、想像力を働かせて詩を味わっている。 d:詩の形と響きについて理解し、想像力を働かせている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	ab 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と分析と定期考査
	古文の物語1、和歌と俳諧	古典 教材 「平家物語」 宇治川の先陣争い 「奥の細道」 旅立ち	○			◎	○	a:描かれている情景を文や語句から読み取り、人物の心情をとらえる手がかりとしようとしている d:描かれている情景を文や語句から読み取り、人物の心情をとらえる手がかりとしている。 e：古文を読むことに役立つ文語文法のきまりを身につけている。	a 行動の観察と記述の点検 d 記述の確認と定期考査 e 小テストと定期考査
	漢文入門、故事	古典 教材 「訓読の基礎」 「名言」 「助長」	○			◎	○	a:日本の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化を受容しつつ築かれたことに気付こうとしている。 d:文章の組み立てを的確に捉えている。 e:訓読のきまりを身につけ、名言の内容を理解している。	a 行動の観察と記述の点検 d 記述の確認と定期考査 e 小テストと定期考査

3学期	評論3	近代以降 教材 「物語られた過去」 「見えない貧困」	○			◎	○	a:現代社会が抱える課題に関心を持ち、自分とは違った意見に耳を傾けようとしている。 d: 現代社会が抱える課題に関心を持ち、自分とは違った意見に耳を傾け、その内容を理解している。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている	a 行動の観察と記述の点検 d 記述の確認と定期考査 e 小テストと定期考査
	小説3	近代以降 教材 「羅生門」	○			◎	○	a:小説の持つ、物語の面白さと語り口の魅力を感じ、人物の心情や情景などをとらえ、果たしている効果に気付こうとしている。 d: 人物の心情や情景などをとらえ、果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や特色について理解している。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と定期考査
	俳句・短歌	近代以降 教材 「折々のうた」	○			◎	○	a: 人物の心情や情景などをとらえ、言葉の美しさや深さなどに気付こうとしている。 d: 人物の心情や情景などをとらえ、言葉の美しさや深さなどに気付いている。 e:文章の形態の特色について理解している。	a 行動の観察と記述の点検 de 記述の確認と分析と定期考査
	文学の創作	「近代以降」 教材 「詩歌をつくろう」	○		◎		○	a:読み手が、ことばをとおして物事の場面や様子を想像できるように書こうとしている。 c: :読み手が、ことばをとおして物事の場面や様子を想像できるように書いている。 e:書くことに必要な詩歌の組み立てを理解している。	ace 行動の観察と記述の点検と確認

	古文の物語2	古典 教材 「竹取物語」 かぐや姫の昇天 「伊勢物語」 芥川 さらぬ別れ	○			◎	○	a:登場人物の心情を読み取り、現代人の心のありようと比べようとしている。 d： 登場人物の心情を読み取り、現代人の心のありようと比べ、心の葛藤を理解している。 e：古文を読むことに役立つ文語のきまりを身につけている。	a 行動の観察と記述の点検 d 記述の確認と定期考査 e 小テストと定期考査
	漢文の史伝、思想	古典 教材 「管鮑の交わり」 「論語」 「老子」 大道廃れて仁義有り	○			◎	○	a:中国思想は日本人の思想にも受け継がれていることに気づこうとしている。 d:文章の組み立てを的確に捉え、中国思想が日本人の思想にも受け継がれていることを理解している。 e:訓読のきまりを身につけ、思想の内容を理解している。	a 行動の観察と記述の点検 d 記述の確認と定期考査 e 小テストと定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力
e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。